

今月の一枚



大きく剪定された檜の木 (10月14日、順慶寺境内にて 岡川経康氏撮影)

◆◆ 三分の一になった檜の木 ◆◆

境内墓地前にある、順慶寺最古の檜の木は、雷に打たれ二つに割れた後、一方は枯れ、一方は皮のみで生きていたが、その後根元から新たに蘖(ひげ)して、大樹となっていた。大きくなりすぎ、倒木の危険もあることから、このたび業者によって大きく剪定して頂いた。

順慶寺だより



印刷・発行 順慶寺
2020年(令和2年)

11月号

VOL.325

◇ 勝ち負けは苦しみを産む ◇

今月の釈尊の言葉も、『ダンマパダ』からの出典です。

「勝者は怨みをかい

敗者は苦しみを味わう

安らかな人は勝敗を捨て

幸せに生きる」(『ダンマパダ』二〇一偈)

「やられたらやり返す、倍返しだ」とは、昨今人気のドラマ『半沢直樹』の名言句です。『半沢直樹』は、普段はガマンガマンで生活している私たちに、痛快な刺激を与え、水戸黄門と同じく、視聴率四十%を超える、化け物的人気を博しました。二つに共通するのは、明解で痛快なところ、勧善懲悪(かんぜんちやうあく)的なところだと、指摘する論評も聞きます。ただ、勝ち負けの伴う勧善懲悪は、現実生活では後味の悪さを伴います。漫画家の水木しげるさんは、誰にも負けたくないという気持ちの強い人のことを「一番病」と呼びました。勝つまでやりたいと思うと、他のことが目に入らず、自分のことばかりを考え、思わず我を張ってしまいます。た



今月のブツダの言葉

勝てば怨まれ敗れば苦しむ

こぶしをゆるめ安らかしう



とえうまく勝つことができ、スッキリしたように思っても、その瞬間に、周りに多大な迷惑をかけていることも多い。負けてばかりのときは自己肯定感を得ることもできません。こうした状況を病に見立てるわけです。

かつて、イチロー選手が引退会見で、「一気に高みに行こうとすると、今の自分の状態とギャップがありすぎて、それは続けられないと僕は考えている。自分がやると決めたことを信じてやっていく。そうしないと、本当の自分に出会えない」(趣意)と。ここには、勝ち負けにこだわるのではなく、信じる道を

若院のテーマカット NO.20



生きた人の安らかさがあります。

◇こぶしをゆるめること◇

今では、最も嫌われますが、技量の無い人が、人より勝ろうとするために技術を得ることを戒めるあり方の一つに、子弟制度があります。

江戸後期の刀匠、①水心子正秀の著書『刀工秘伝誌』には、秘伝を弟子に安易に伝えない理由について、「いやしく惜しんで伝えないのではない。むやみに伝えても弟子の技量がそこまで達していない時に教えたなら、かえって修業の妨げになるものだ」(ネット参照)と言っています。また、将棋の藤井聡太さんの師匠として有名な杉本昌隆さんは、「弟子を育てよう」と意識するより、自分が棋士として一生懸命取り組むほうが弟子も誇らしいだろうし結果的に

指導にもなる」とされて、自らが将棋に真剣に取り組む姿を見せて弟子を育てます。

かつて、釈尊が亡くなる前、なかなか奥義を話してくれないと思った弟子のアーナンダに、

「アーナンダよ、修行僧たちは私に何を期待するのですか。わたしはすでに弟子たちに分け隔てなく教えを説いており、何かを弟子に出し惜しみにする、教師の握りこぶしなどをしていない。悟った人は、『私は弟子や仲間を導くとか、弟子や仲間に頼っている』などとは思わないのだ。」(②大パリニバーナ経)

と語られています。先んじて向上に努めた人は、勝ち負けにこだわってこぶしを握りしめるのではなく、こぶしをゆるめ努力を重ねることをすすめます。

②【大パリニバーナ経】

江戸時代の日本の刀工。江戸時代末期に鍛刀した。本名・川部儀八郎。鍛刀のほか理論書の著述や復古論、實用論を提唱したことで知られる。寛政年間頃から後に作られた刀、「新々刀」の祖として知られる。江戸時代、世の太平に慣れ、刀も弱い作りになっていたのに反発し、南北朝・室町初期頃の古刀を理想像としてその再現をめざした。

別名、『大般涅槃経』(パリ語はマハーパリニツバーナ・スッタ(ンタ))とは、パリ仏典経蔵長部の中に第十六経として収録されている上座部(南伝)仏教の経典のひとつ。八十歳の釈尊が、王舎城にある靈鷲山から人生最後の旅に出発し、マツラ国のクシナーラーにて入滅するまでのお言葉やその後の火葬・遺骨分配の様子が描かれている。

念仏を欲ぶ人
妙好人の世界
 [第99回]
 《味おうてくれ》
 ものだねきちべえ
物種 吉兵衛
 (7)

《途方もない課題》

堺の妙好人・吉兵衛。三十五歳で、このままでは「死んでいけませぬ」という重い課題を抱えて、突然家を飛び出し、身重の妻のぶをおいて、そのまま遍歴の旅に出てしまいます。家を飛び出した吉兵衛は、思いつくままに僧侶や同行を尋ね歩きました。大坂をはじめ、伊賀や伊勢まで歩きましたが、「死んでいけませぬ」という課題に答えてくれる人はなかなかありませんでした。こうして途方もない旅をしている

若院の成長日記
 Growth Diary

《第七回 無義をもつて義とす》

間に、近江の松尾というところにある、教専寺の住職と違い、助言を求めましたが、やはり答えはありません。吉兵衛は、ひどく落胆し疲れを覚えたので、気分転換に、翌朝早くに山に登ると、遠くに彦根城が見えました。そのとき初めて、自分は遙か遠くまで来ていたことに気づき、ようやく妻のぶの元に帰ることにしたそうです。家に帰ると、のぶが乳飲み子を抱えて、乳を与えていました。吉兵衛は、幼子がこの子供か分からず、「どこの子に乳を飲ませているのか」と尋ねると、のぶは無表情に、「これはうちの岩です」と答えました。吉兵衛が遍歴の旅に出ている間に、のぶは一人出産し、子供を育てていたのです。今では決して許されないことですが、当時は、ありうることでした。

歎異抄第十条には「念仏には無義をもつて義とす。」という親鸞聖人のお言葉が書かれています。「無義」とは、我々のような念仏を称えるものはいかに無いこと。後半の「義」とは本義のことを意味するそうです。念仏に願ひ事やあれやこれができるようにしたいという自分の「はからい」を込めることなく、何もいわないで、ここで南無阿弥陀仏と襟を正していただくのが大切なのではないでしょうか。

子と共に

ママ達
奮闘中!



先日、スーパーで若いお母さんたちが、「この子熱出しちゃって、三日間も幼稚園お休みしちゃって。もう、地獄よ地獄……!」と、おしゃべりに熱が入っているのを耳にしました。心の中で、「あんなにかわいいお子さんを抱いて、地獄だなんて……!」と思いつながら、自分も子育ての最中は同じようなことを言っていたな、とクスツと笑えました。思い出すと、今のコロナほどではありませんでしたが、十年前、次男が新型インフルエンザに罹り、夜中に救急に走っていったときも大変でした。

コロナの中でも、小さい子供たちは、病気のデパートで、そこから中から病気を仕入れてきます。「子育てガンバって〜!」と心の中でエールを送りました。

佳帆子

受験を控え、久しぶりのインフル予防接種

秋の落葉シーズンを前に

大きく茂った檜の木を剪定

さる十月十四日、毎年豊明市翠保造園さんによって実施される、境内の庭木剪定にあわせ、茂りすぎた檜の木の新定作業が行われました。

順慶寺境内には、五本の刈谷市指定の保護樹がありますが、そのうち一番古いものが、墓地前にある檜の木。雷に打たれ、二つに割れたところに、新たに一本が薬ひこばえして、直径二メートルほどの大木となっていました。



剪定前の檜の木 (左)、剪定後の檜の木 (右、ともに岡川経康氏撮影)

は、鳥が巣を作っており、このころ頻発している鳥被害を誘発する原因ともなっていました。

そのため、順慶寺総代会で協議した結果、古い皮だけの部分は伐採し、薬した部分だけにし、残った部分も大きく剪定することとし、本年九月、順慶寺護国寺会員で、順慶寺境内の造園作業をお願いしている、豊明市・翠保造園の志水利雄さんに剪定作業を依頼しました。

以前から、薬する前にあった幹が、皮だけになっており、そこから沢山の枝や葉っぱが茂って、倒木の危険があることが指摘されていました。また、順慶寺境内は、小学校の通学班の集合場所になっており、檜の木はブランコのすぐ近くにあることから、順慶寺には危険性を危惧する声も届いていました。

さる、十月十四日、翠保造園さんが例年の境内剪定作業にいられた際、檜の木の剪定をしていただき、大きさをおよそ三分の一まで切り落としていただきました。



真宗大谷派第二十六代暢裕門主

門主継承式開催

令和二年七月一日、二十四年にわたり門首の任にあつた大谷暢顯氏が門首を退任され、従弟にあつた大谷暢裕氏が、真宗大谷派第二十六代門首に就任されました。本年御正忌報恩講の前に、令和二年十一月二十日午前十時より、東本願寺にて門首継承式が行われます。

大谷暢裕門首は、京都市生まれ。一歳のときに南米開教使だった父親(暢慶氏)とブラジルに渡られました。ブラジル国籍で、サンパウロ大学で物理学を研究し、博士号を取得。専門はロケットに使う炭素素材など。四十歳で得度され、平成二十六年に日本に戻られてから、次期門首になる準備をされておられました。

なお、式典への参加は締め切られています。インターネットによるライブ中継も予定しております。

10月度護国寺会物故者

釋賢誠

10月1日寂 桐木賢二(74)
一ツ木町 桐木みえ子様の夫

見性院釋鈿益

10月4日寂 加藤鈿司(88)
大久屋前川組 加藤成仁様の父

釋馨公

10月6日寂 加藤公洋(91)
知立市 加藤英美子様の夫

実相院釋清卓

10月8日寂 池田卓夫(65)
安城市 池田洋子様の夫

釋照念

10月14日寂 邊田照雄(76)
今川町 邊田まり子様の兄

釋慈守

10月26日寂 岡本守久(74)
市場上組 岡本浩孝様の父

編集部短信

◆バードキラ―効果あり―先月、水舎に導入した防鳥用の装置・バードキラ―。設置後、水舎に飛来する鳥の姿はなく、大声で鳴きながら飛ぶ鳥を見て効果を実感。情報提供者の市場上組・小林万里子さんに感謝。

◆教如上人寿像修復完了―本年報恩講の前に、順慶寺最古の宝物の一つである、教如上人寿像の修復作業(若林仏具店による)が完了。十月二十九日、レプリカとともに順慶寺に納品される。◆本堂の同時配信準備完了―報恩講に向けて、庫裏や玄関に本堂の模様をライブ配信する用意が整った。これで、インターネットと寺院内の同時配信が可能となった。

編集雑記

十月に法務が重なってどうしても枕経に趣くことができず、若院に代行を頼みました。初めての経験で、枕経から帰ってぐったりしていた若院を見て、自分が初めて枕経に出向いたとき、何も話できず、ただただもじもじしていたことを思い出しました。人の往生の重みを全身で受けとめたこと良かったと思います(住)。

十月になって急に冷えてきたような気がします。ジャケットのような上着を着ずに通学したら教室で凍えてしまいました。妹の受験も控えており、自分もより一層体調に気を使わないとなと思う日々です(若)。



11月の主な行事予定

日	曜	行事内容	掃除当番
1	日	↓ 新型コロナウイルスのため、法要行事を除く、本年の例会等は休会となっています。 ただし、各地のお取越は、順次実施していきます。	
2	月		
3	火		
4	水		
5	木		木-1
6	金		
7	土		
8	日		
9	月		
10	火		
11	水	花立て、大掃除、おみがき(8:30、順慶寺)	
12	木		木-2
13	金		
14	土	当山報恩講初日(午前のみ)	
15	日	当山報恩講二日目(午前のみ)	
16	月		
17	火		
18	水		
19	木		木-3
20	金		
21	土		
22	日		
23	月		
24	火		
25	水		
26	木		木-4
27	金		
28	土	宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺にて内勤め)	
29	日		
30	月		
12/1	火		

11月行事内容 詳細

当山報恩講

11月14日(土)・15日(日)

ともに午前10時〜正午 順慶寺
本年も順慶寺最大の法要である報恩講をお勤めいたします。

本年は、新型コロナウイルスに対する対策として、報恩講の日程を二日間とし、左記のように二日も午前中の法要とする予定です。

基本的に、初日を今川地区・三河地域の皆様のご案内とし、二日目を泉田地区・尾張地区のご案内とさせていただきます。

本堂の模様を庫裏と玄関にライブ中継し、間隔を設け席を作りますので、人数制限をしない予定です。

当山報恩講日程

11月14日(土)

10時〜 お勤め
10時45分〜 法話(正午終了)
講師:市野智行氏
ご案内:今川地区・三河地域他
(お斎は助六寿司を持ち帰り)

11月15日(日)

10時〜 お勤め
10時45分〜 法話(正午終了)
講師:宇治谷顕氏
ご案内:泉田地区・尾張地域他
(お斎は助六寿司を持ち帰り)

お知らせ

●当山報恩講の準備について
本年度の報恩講は、新型コロナウイルス対策により、準備も制限して行います。11月11日午前8時半より、お花立て、大掃除、おみがきを箇所を限定して実施します。お手伝いの出来る方は、よろしくお願いいたします。

- 本年、本山報恩講は、例年通り、11月21日より28日までライブ放送も含め実施されます。その際、以下の留意があります。
- ① 11月21日の音楽法要は中止
- ② 集会から法要終了まで、最大1時間半を目途とする。
- ③ 参拝席は椅子席とし、十分な間隔を持って着座。御影堂五百席。阿弥陀堂二百席。
- ④ 境内のテント設置は受付等最低限のもののみとし、各種展示テント等は設置しない。
- 組お取越本年も実施します
本年も組のお取越は、12月より例年通り順次実施します。

じゅんこのときめき歳時記 インフルエンザ

十一月になると、日の暮れが早くなるし、朝晩が寒くなってきます。だんだん、秋が深まってきたようです。

皆さんは、インフルエンザの予防接種を受けましたか。今年は、新型コロナウイルスのこともあって、予防接種を受けた方がいいと言われていました。そのためか、どこの病院も予約でいっぱいなのです。

昔から、風邪には、美味しいものを食べて寝ることが一番と言われてますね。栄養をとって体を休めると、免疫力があがるので、八時間くらいは寝るといいそうです。八時間

という、夜十時には寝て、朝六時くらいに起きるのがいいのです。私にはちょっと難しいです。規則正しく生活するように、修行僧を見習うといいのかも知れません。

知らぬ町にて
風邪ぐすり買ふ 店探す
安住 敦



編集・発行人 池浦裕哉
印刷・発行所 順慶寺内
真宗大谷派順慶寺
郵便番号 四四八-0004
愛知県刈谷市泉田町池之浦三
連絡 電話 0566-21934
FAX 0566-26563
郵送 郵送料毎月百円(年割1,000円)
振替 0083010116269
会員 護身会員には五百円にて
年間郵送をいたします。
インターネット
URL: http://www.junkyoji.com/
E-MAIL: suspon@junkyoji.com